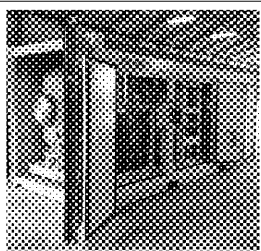


## 水素供給事業40億円

### 新明和工業、30年度売上高

新明和工業は1日、水素サプライチェーン（供給網）事業で2030年度に売上高40億



水素事業の脱水素装置（フレイシオン・エナジー）

円を目指す方針を明らかにした。協業先のフレイシオン・エナジー（札幌市東区、小池田章社長）には出資も検討し、関係を強化する。水素を省エネルギーで容易に貯蔵・運搬できる装置を共同開発し、水素発電の電気を電気トラックなどに供給する事業モデルを築く。水素を常温・常圧で

液体として運べるメチルシクロヘキサン（MCH）に合成して運搬し、供給先で分解し水素を取り出す。タンクローリーなどで容易に運べる。フレイシオン・エナジーの触媒技術と新明和の量産技術で事業化する。MCHでは他社も大型装置を手がけるが、小規模で低コストな装置として差別化する。宝塚工場（兵庫県宝塚市）または小野工場（同小野市）で製造する。